

2. 組織の充実・強化

1) 分封について

H30年度も180社以上の正倫理法人会は70社以上で分封する。
 分封は、新しい役職者を産み、新しい縁を産み、倫理実践を深化させる。
 「高い使命感」(進化)で分封により多くの役職者を輩出しましょう。
 ※新設単会については70社以上の準倫理法人会として開設する。又は、
 100社以上の正法人会として設立する。(いずれの場合も1ヶ月前登録)
 例1)親180社-35社分封 ⇒ 子35社+35社以上の新規で準倫理法人会開設
 例2)親200社-50社分封 ⇒ 子50社+50社以上の新規で正倫理法人会設立
 ※いずれも親は、残数+5以上の新規普及で正倫理法人会の資格を確保する。

2) 正倫理法人会

単会は常に100社以上の会員企業数をもって、質量ともに充実した組織
 活動と会員サービスが求められる。
 (茨城県はH29年度全28単会が正となりました。)
 ※100社に満たない単会は二年以内で100社復帰を目指す。
 (H29年度末時点/100社以上23単会・100社未満5単会)

3) 地区・親子・近隣単会の関わり

各単位法人会の活動は、地域に根ざしたキメ細かな組織活動を通して、
 倫理経営を実践する企業の“仲間づくり”が第一義の目的です。
 親子・近隣の単会や、地区内での情報交換を積極的に推進して、
 “仲間づくり”の機会を建設的に発展的に増幅させたいものです。

4) 地区内の委員会交流

各委員会には、その委員会ごとの主要な活動目的がありますが、
 最大の目的は「未入会者の巻き込み」という役割を持っています。
 この活動を近隣の単会や地区内で定期的な交流会として行うことで、
 “普及の宝”となる見込み者のリスト集めが容易になってきます。

3のつく日は「三太郎交流」で!

地区・単会・委員会…すべての行事を「三太郎交流」にしよう!
 すべての行事は、まずは「楽しく」なければ誰も出席したくありません。
 その上で「為になった」「助かった」となれば出席率も定着率も上がります。
 役員会ははじめ、全ての行事を「三太郎交流」で展開しましょう。(P55参照)

H30年度の合言葉です。
**単会活動、委員会活動
 において、毎月”3”の
 つく日を交流日に
 設定しよう!**